

単
元
名

つなげよう平和－ヒロシマ見聞録－

教科書出版社名 (東京書籍)

○ 小学校 (6) 年 教科等 (総合的な学習の時間・国語)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・身の回りの生活について見つめ、平和と命に関する課題に探究的に取り組むことを通して、平和について自分なりの考えを持ち、表現する力。

・相手に応じた情報と伝え方を選び、効果的な方法で表現する力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・目的に合わせて情報を選び、効果的に思考ツールを用いて情報活用を図る力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…本や資料、ICT、聞き取りを活用してヒロシマについて調べ、情報を集める。

●整理・分析…情報カードから必要な情報を付箋に書き出し、ピラミッドチャートで自分の考えを持ち、伝えたいことを考える。

●まとめ・表現・発信…「ヒロシマ見聞録」の紙芝居を作成し、自分の考えを表現する。1～5年生の教室を訪問して紙芝居を読み、平和についての思いを伝える。

○ 学習の展開 (全25時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次 (4時間)	○「平和への誓い」を聞くとともに、和泉市と戦争について知る。 ・市の文化遺産課長をゲストティーチャーに招いて、お話を聞く。
第2次 (☆) (9時間)	○修学旅行でなぜ広島に行くのか考え、学習の見通しを持つ。 ○『あるいてみよう広島のまち』を読み、自分が調べるテーマを決める。 ○本や資料、ICT、聞き取りを活用してヒロシマについて調べる。 ・情報カードを活用して、必要な情報を集める。 ○選んだ情報をもとに、自分の考えを持つ。 ・ピラミッドチャートを活用し、自分の考えと伝えたいことを整理する。
第3次 (12時間)	○「ヒロシマ」での経験をもとに、紙芝居の構成を考え、中間報告会をする。 ○紙芝居を作成し、下級生や地域の方に平和への思いを伝える。 ・効果的な表現になるよう工夫し、相手に伝わるように発表する。 ○学習をふりかえる。 ・平和や戦争の記憶を未来へつないでいくことについて考える。

(本時 13 / 25 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
選んだ情報をもとに、自分の考えを持つことができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
3	1. 選んだ情報をふりかえる。 ・前時に情報カードをもとにキーワードを書き出した付箋から、選んだ情報をふりかえる。	・単元マップで、下級生へ紙芝居で平和への思いを伝えることを確認させる。
2	2. 本時のめあてを確認する。	
選んだ情報から、自分の考えを持つ		
25	3. 選んだ情報をもとに、自分の考えを持つ。 ・ピラミッドチャートを活用して、複数の情報から自分の考えを持つ。 ・付箋を操作して、自分の考えの根拠になる情報をまとめる。	・選んだ情報から自分の考えを持てるように、ロールモデルを演じる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・詳しい情報を思い出したいときには、情報カードや調べた本を読みなおさせる。</div>
10	4. 自分の考えを交流する。 ・ピラミッドチャートを見せながら、考えを交流する。	・どの情報から、どんな考えを持ったのかを考えながら聞くように促す。
5	5. 学習をふりかえり、次時の見通しを持つ。 ・自分の考えを持つことができたかと、交流で分かったことのふりかえりをワークシートに書く。	・修学旅行で学んだことも活かしてピラミッドチャートを完成させることを伝える。

図書館活用
ポイント

